

私書箱

100-91

東京都中央郵便局

私書箱916

AA日本ニューズレター

No.8



AA日本ゼネラル・サービス・オフィス内 広報委員会



TEL03-590-5377 160 東京都豊島区池袋 2-1083 橋ビル9F

第3期関東地域サービス 常任委員会の目指すもの

過去4年間の、AAのサービス活動を委員会機構がリードし、責任をとっていこうという意欲的試みを引き継いで、関東地域のサービス活動にますます意欲を燃やし、一方、最後の任務となるであろう全国のサービス活動の代行機能の仕上げをすることになる。

今、日本アルコールクス・アノニマスは4つの機構がサービス活動をリードする。

日本AAのサービス業務の拠点となるGSO(東京池袋)の運営一切を任されるオフィス幹事会(オフィス運営委員会は発展的に解消した)、全国AAサービス業務の核心は2年後に関東地域サービス常任委員会から全国評議会に引き継がれるよう、その設置に向けてすでに行動を開始した、全国評議会推進実行委員会、関東地域9地区幹事集会と関東地域代議員集会、そして4つ目が私達の委員会である。

私達関東サービス常任委員会は、4つの会合が定例の集会を持ち、議事録を迅速に発行することを呼び掛ける。今までは、機能がある程度一元化されていたが、これからますます多元的に分かれていく。

各機能が密接に連絡をとり合い、オブザーバーが参加し合って進んでいくことが望ましいと考える。

質問や意見をきくのに私宅や職場へ連絡をとるのは補助的な手段にすぎない。

ところでこれからの2年間の当委員会の目標は次の4つとする。

1. 関東地域AAのサービスマニュアル(サービス活動の手引)を作成する。これは日本AAのサービスマニュアルのサンプルとなると考える。
2. 献金活動を活発にするために、広報活動を徹底し、オークションの他にダンスパーティやキャンプ集会などユニークな集会を企画試行する。
3. ポスターやビデオテープ、カセットテープによる視聴覚資材の開発、刑務所等矯正施設へのメッセージ活動に向けて行動を起こすこと。
4. AAの文化を高めていくためにビッグブック・セミナーや伝統セミナーを企画試行する。

私達関東サービス常任委員会は自分の委員会の任務を果たすことに全力をあげてみるつもりでいる。

開かれた定例の委員会にはいつでも来て、意見を述べたくなる建設的な雰囲気がみなぎっているようにしたい。

関東サービス常任委員長 林

仲間の中で育てられる ボックス

この委員会の目的は、ボックス916を編集・発行することにあります。昭和63年2月の時点での購読者状況は、有料配布1250部、無料配布500部、総発行部数は1900部です。3月号では、100部増加して2,000部になります。

最初に数字をかいたのは、目に見える形としてお知らせすること、この小冊子を支えてくれているのは、AAメンバー(仲間)と関係者の方々だと、ということです。

活動方針を書くように、と広報委員長より原稿依頼がありましたが、複雑に考えるだけで、なかなかシンプルにまとまりません。簡単にいえるのは、月一度の発行を確実に継続する。仲間の中で、気楽に読まれ、気軽に書いてボックス宛に原稿を送ってみようかな、と身近かに感じられる誌面づくりを編集する。

自由投稿です、と呼びかけていますが、BOX-916委員会発行の原稿用紙を、まだ一度も見たことがない仲間もたくさんいることと思いますから、積極的に仲間やアルコール問題に関心のある人、ない人に働きかけていきたいと思えます。

委員会として問題点を整理し、仲間の中でオープンにする方向性を目指すことで、JSOとの関係も明確になると思えます。今後の課題で「自立」という大きい問題がありますが、発行部数の増加だけで解決できない点を確認する作業は、時が必要です。

メンバー、委員会、ボックス916、各々が自立し共同作業(サービス)を通じ気楽な委員会による手づくりの雑誌が願望です。手応えは確か。

第一土曜日の夜七時から池袋のJSOにて編集会議を開いていますから、顔を出してください。何をやるかは、本人しか決められませんから、話し合っ一緒にやりましょう。

活動方針、行動計画、企画の内容とは、ほど遠い文章になりましたが、この場をかりて原稿依頼をよびかけたいと思えます。

BOX916委員会



関東病院施設委員会の 構成と今後の活動

当委員会構成

グループで「メッセージ委員」2名(正・副任期1年)を選び、メッセージの問題をメンバーと共に話し合い地区に報告する。

地区へ各グループから選ばれたメッセージ委員が集まって「地区メッセージ委員会」を開いて、その中から『病院施設委員2名(正・副任期2年)を選ぶ。同委員は地区の状況を病院施設委員会へ報告する。

病院施設委員会は、関東10地区で選ばれた病院施設委員と、関東代議員集会で選ばれた、正・副病院施設委員長で構成され、毎月開催されている。現在地区メッセージ委員会ができていいるのは3地区である。今期のサービス活動をより円滑にするためにも、まだ委員会を設けてない地区に、早期実現をはかりたく、メンバーの理解と協力を要請する。

今後の活動(資料作成・メッセージ)

資料作成として以前から提出されていたメッセージ記録表は今期も各委員を通し、継続して当委員会に提出することが年頭に委員会で確認された。あわせて新しく『病院施設メッセージ一覧表』を速やかに作成することも当委員会の最初の仕事である。

メッセージ活動について今期は足もとを見つめ、再度関東地区の病院・施設・行政関係の専門家にポイントを絞り、AAの紹介をしていく。尚、今までメッセージを運び続けた関東地区以外の、羽金(会津)、星ヶ丘(都山)、舞子浜・四倉(いわき)の病院に関しては、東北地域の応援を仰ぎ、徐々に、「地元のグループに手渡す方向」でバックアップしていく。

全国的なメッセージ活動や諸資料は、先のフォーラムで討議された全国サービス体系の地域割りを参考に、各地域のメンバーと機会あるたびに情報交換し、連絡網を作る。

病院施設委員会



テーマ「新たな出会い」

’88AA関東春季ラウンドアップ開催のお知らせ

新年度を迎えメンバー各位にはますますご精励のことと存じます。いかがお過ごしでしょうか。さて恒例のラウンドアップの日時が決まりましたので実行委員会

よりお知らせ致します。

場所は秋と同じ越生です。日時は4月17、18、19日の3日間です。花とかげろうの燃える中でみなさんとお会いする事ができるのではないかと思います。

今回で5度目です。素晴らしい事だと感謝致します。私見ですが、同じ場所で何回もとか、マンネリだという声も少し聞きます。私も去年の春は1回休ませてもらいましたが同じ理由です。でも秋に行ってみて、また新たな感激と新しい力との出会いがありました。3分の1を越える新しい仲間と、一緒に来たであろう今ルールに乗って今日一日楽しく生きているであろう人たち、一日中笑い声の切れないNAの仲間の人たち、また、本当に良かったと思ったのは回を重ねる度に多く来て下さる関係者及び専門家の方々。日頃お世話になっているのになかなか感謝の気持ちをお知らせできないのですが、このイベントを通して、みんなの元気な姿と明るい笑い声の中で、一緒に行動しながら見ていただけたらと思います。ご多忙中とは存じ上げますがぜひおいで下さい。

12月中旬より動き出した実行委員会もようやく軌道に乗ってまいりました。委員長はじめ、みんな張り切り切っております。特に今回は、催物、ラッフルの係の仲間が何か新しい事を始めそうです。ご期待下さい。

AAはその場所に自分で行って初めて何かを感じるような気がします。最高のイベントはやはり一人でも多くの方にご参加戴くのが一番かと思ひます。もう春はむこうの方から歩いてきています。実行委員会一同、みなさんの参加、協力を心よりお待ちしております。では、花咲き薫る越生で新たな出会いをお待ちしております。

〔開催日〕昭和63年4月17、18、19日

〔会場〕埼玉厚生年金休暇センター

(埼玉具入間郡越生町古池700)

東武東上線坂戸乗換越生線、またはJR八高線「越生」駅下車バス10分

〔参加費〕3,000円(宿泊費は別です)

*参加費には借り受ける各会場の使用料、コーヒー代、消耗品代、雑費等も含まれています。

〔宿泊費〕1泊(2食付) 6,350円

2泊(1食付) 12,700円

*18日の昼食はご希望により、650円にて別途受けつけます。

〔申し込み〕各グループ担当者またはJSOまで

〔申込締切〕昭和63年1月2日(土)

*尚、宿泊人員は236名になり次第締め切らせて戴きます。

*4月7日以降の取り消しにつきましては、参加費、宿泊費、昼食代等の返金はできませんのでご了承下さい。

詳しくは、ラウンドアップ実行委員会、またはJSOまでお問い合わせ下さい。

ラウンドアップ実行委員会

AA関西 サービスフォーラム を終えて

2月11日の祝日、関西で初めてのサービスのためのフォーラムが開かれた。良い天気恵まれたが寒い一日を、AAのサービスを考えるための集會にたくさんの仲間が集まった。

昨年11月東京で開かれた第2回AA日本サービスフォーラムに参加して、そこで大きなカルチャーショックを受けた一人の仲間が大阪に帰ってきて、もう一人の仲間に声を掛けた。関西のAAにはこの8年間ゆっくりではあるが絶えず成長し、たくさんの仲間とミーティング場を増やしてきた。そしてAAに対する外部の理解と関心も大きく前進して、毎日のミーティングも病院メッセージも、献金もオフィスもすべてうまく行っている。それなのに、何か物足りないものを感じる。それが何であるかは分からないが。

それは新たに継続したソブラエティーを得られる仲間の数も、病院メッセージに参加する仲間も献金も数年前と変わらないことだろうか。その意味でこの数年間のAAの三本柱は、それぞれバランス良く成長してきたのだろうか？ 回復、一体性、奉仕、ミーティングでは良く話されるこれらのテーマが、私たち一人一人の独善に陥っていないだろうか？

私たちが気付かないところで何かが抜けているのではないだろうか？

正月明けの4日、フォーラムの準備グループとして9人の仲間が集まった。集會の目的は？ テーマは？ 呼びかけの範囲は？ いろんなことを相談した。しかしハッキリしたことは何も決まらない、というより何も決めないことにした。サービスのためのフォーラムなんて関西ではまったく耳慣れない集會をして、はたして何人の仲間が関心をもってくれるだろう。しかしとにかくやってみよう、やってみる事は悪いことではないし、AAがいつも動いているための一つの活力にはなるのではないか？

「最近病院や医療行政から直接AAに紹介されたり、みずからAAを求めてくるアルコール中毒者が増えてきています。各ミーティング場では、新しい仲間に対するサービスはうまくいっているでしょうか？」という書き出しで、お知らせのピラが配られサービスフォーラムへの呼びかけが始まった。

AAのサービスの主体になる「グループ」については、集會の半分の時間が費やされた。スピーカーに指名された仲間は順番にマイクの前に座り、落ち着いて自分の考えを発表していく。自分から積極的に手を挙げて意見を述べる仲間もいる。十分な時間には足りなかったが、次のテーマに移されていった。

「メッセージ」にも、もっと時間をかけたほうが良いかも知れない。しかしここで司会は交代して、「献金」と「オフィス」をテーマにして仲間の熱心な話し合いは続けられた。ほとんど息つく暇もない感じだったが、最後に「AA関西十周年」への取り組みの現況が紹介され、今日の話合いに発言のチャンスがなかった多くの仲間を残して、予定されていた時間になってしまった。

集會の間に時々会場にいる仲間を数える。いつも30人を越えていた。多い時は40数人、途中からきた人、途中で帰った人を加えると、いま関西のミーティングに参加している仲間の半数近くが参加していたようである。そして最初から最後まで会場を離れなかった横浜の仲間と病院のカウンセラーの方々。

話し合うことだけを目的にした関西のサービスフォーラムは、予定一杯の正味6時間をかけた。具体的な方針も打ち立てず、何らの意志集約も縛られたわけではなかった。しかし仲間の集中した話合いの中に何か今までとは違ったものが感じられれば、そしてその何かが次のサービスへの手がかりになれば、この集會の目的は十分に果たせたように思う。まだ集會の集約はされていないけれども、私たちの「サービス」は、苦しんでいる未来の仲間に向けられるものであると同時に、私たちの「回復」を進める大きな力となり続ける。そして個人の行動からグループとしての「一体性」とサービスを考える行く力になるに違いない。

この集會に参加して感じたことは、AAの回復はいつも仲間と一緒にいること、一緒に考えること、一緒に行動することと、そしてまだ苦しんでいるアルコール中毒者に「一緒にやりませんか？」とメッセージを運ぶことではないだろうか？ 見えないところで行動している一人一人のメンバーが、個々の善意から一歩前へ進んで「愛と謙遜」によって手をつなぎ、今日AAに来た仲間にも、AAに関心を寄せてくれる人々に対しても、AAの共同体としての責任を感じ、はっきり見える形でその責任を担っていくための仲間の協力関係を作り上げていく時期が来つつあるということではないだろうか？

「AAは面白くなりますよ」と言ってくれた関東の仲間の言葉のように、関西のAAも面白くなっていくのだろう。たくさんの仲間の愛に支えられた今日の関西AAフォーラムから、さらに新しい仲間の愛が育ちますように。そして今日に続くであろう「今日一日」に期待を賭けて、私たちの新たなスタートにしていきたい。 [Q]

👉 グループ便り 📌

盛岡グループ

岩手には、素晴らしい詩人がおりました。彼は、岩手の風土から、つまり、山や森、畑や川原から、そして星や風や光からも自然のほんとうの美しい姿を教えられて、それを誰にでも分かるような言葉であらわしました。『イーハトーブ』彼は、そうした美しい言葉を授けてくれたこの風土にこの名を冠しました。自然の真実を、生きることの真実を宮沢賢治は、イーハトーブ岩手から発掘することができたのです。

昨年3月30日、たった一人で仲間を求めスタートした盛岡グループ・・・なんと無謀な、アル中ならではの、なせる業・・・。夢中で精神衛生センターにパンフレット類を持ってとびこみ、ある主任保健婦さんとの『出会い』から大きく流れが変りました。県北に位置する一戸の専門病院のPSWをご紹介戴き、ドクターのご理解をも賜わり、4月中旬より仙台グループの仲間の協力を得てメッセージを運べるようになりました。以来欠かさずメッセージを運ばせて戴いております。毎週木曜日、メッセンジャーと二戸グループミーティングに参加する仲間とともにボンコツワゴン車で自然の中を盛岡から70キロほど北上する。ジュースとのり弁を買いこんで、まるでハイキング気分！車中の会話は、勿論大変上品なる助平な話、雪が多いという理由づけかスリッパして3ヵ月間の出張に出かけた仲間を心配する話等々、内容はさまざまですが、そこには皆、真っ白に染まった自然と一体化しながら飲まないで生きている充実感を憶えた顔があります。

今仲間は一人の時に比べると何倍にもなっていますが、多くなれば問題点も正比例して表面化してくるものですね。仲間だけではどうしても解決できない問題も多く、解決のためにはどうしても専門家のご協力を仰がなくてはなりません。今後も専門家の方々との連携プレーを良い状態で保ち続けたいと考えています。

盛岡グループ発足1周年を待たずして、二戸グループ、水沢グループ、そして2月には一ノ関グループも誕生する予定です。これも偏にわれわれに関わりある方々のご理解とご協力の賜物と感謝しております。しかし再度ピンクの雲には乗りたくはない。多々不安がありますが、今は心強い仲間とともにいる。後は『おまかせ』と心の中では責任逃れ。一番得意とするところである。

水沢グループは、盛岡より65キロ南下した位置にあり、ミーティング場の近くには理解ある医療・行政機関が控えているので非常に心強い。二戸グループにしても、同様である。

今日は盛岡、明日は二戸か水沢か、それとも宮城か弘前か、となぜか皆行動力がある。地吹雪なんかなんのその、ドライバー以外のメンバーからGO!GO!の音が飛ぶ。ドライバーもその気になって例のボンコツワゴン車のアクセルを踏む。やはり病気である。

先日、三沢米軍基地内のAAミーティングに仲間5

名と共に参加してまいりました。ミーティングの雰囲気には違いはなく、通訳なしでレッツゴー。女性3名を含めアメリカ人11名と計17名のミーティング。テーマは「正直」。相互にスピーカーが何を言わんとしているかが伝わるから不思議である。今後も是非参加してくださいとの事、我々一同すっかりその気になっている。ナンシー、ダップ、ディブ、リッチ、マリールたちが5月29日盛岡で開催される第2回東北ブロック・コンベンション(仮称)に参加する約束もしてくれました。AAには言葉や肌の違いも国境もなく、皆飲まないで生きることを真剣にプログラムに求めていることを体で感じつつ盛岡への帰路につきました。基地の仲間と再会を約して。

最近盛岡にも福島、宮城、秋田から仲間が顔を見せてくれるようになった。「仕事で来たから」と言って3日も泊まりこみで毎日ミーティングに参加しいつの間にか居なくなる。嬉しいことではないか。宮城の仲間三沢基地AAに参加を呼びかけたところ3名の申し込みがあり、現在日程を検討中です。是非ご一緒しましょう。

今、岩手で流行っている言葉がある。神をも恐れぬ「そして二つのものを見わける愚かさを」である。仲間の失敗に巻き込まれることなく自分のエネルギーにしよう・・・という意味であろうが、その時々において妙な部分に一体性を見出し出てゆく、悪く言えば落着きのないグループ。ミーティング4分・遊び6分のいいかげんなグループですが、これこそ岩手といった風潮さえ感じられる。

今日も誰が来るのかわからない。しかし、自然の真実を、飲まないで生きる真実を求めてきつと誰かがやって来る。

願わくば、AAが、イーハトーブが、賢治の言わんとした通りこの日本で、そしてこの世界が理想の姿を分かち合えるようになってほしいものである。

「おでんせ

岩手へ」

カッペ



「12ステップと 12の伝統」 値下げのお知らせ

昭和63年2月1日より、「12ステップと12の伝統」の価格が従来の2,500円から2,000円に値下げになりました。詳しくはJ50までお問い合わせ下さい。